

2023年8月

感動の東北四大夏祭りの旅に参加して

青森ねぶた祭・秋田竿燈まつり・山形花笠まつり・仙台七夕まつり

福田利雄（会員番号 11）

8/4（金）～8/7（月）にかけてクリスタルハート厳選の旅「2023年感動の東北四大夏祭り・・・ご夫婦おふたりの旅4日間」と銘を打ったツアーに参加した。

ツアー旅の期間中に家内が誕生日を迎えるという事もあり、2月上旬に参加申込を済ませてあったのである。

8/4（金）8：00 予約していたタクシーで伊勢原駅へ、本厚木駅からロマンスカーで新宿へ、集合場所である東京駅八重洲北口改札日本橋口付近に集合時間ギリギリの10：00少し前に着いた。今回ツアー参加者は、ほぼ高齢者のご夫婦で14組28名であった。

東京駅10：36発「山びこ57号」新幹線で盛岡駅（岩手県）へ、グリーン車、車内で昼食豪華弁当・・・盛岡駅には14：00頃に着く、青森市まで約2時間30分のバス旅である。ゆったりと座れた大型バスであった。

♥ 東北四大夏祭りの旅（1日目）

青森ねぶた祭 2023年8月4日（金）

16：40 陸奥湾に面した青い海公園に到着した。青森ねぶた祭に出陣する大型ねぶた23台の制作小屋が建ち並んでいる。ねぶた団地（ねぶたラッセランド）が最初の見学先である。

♥ ねぶたラッセランド

16:45



昨年は15台の大型ねぶたが制作されたが、2023年の今年は23台の大型ねぶたが制作された。制作開始5月中旬～1台ねぶたの制作費用は¥2000万円以上、延べ300人の方々が制作に関与されているとの事である。



明るい時間帯に見る大型ねぶたも迫力があるが、ねぶた祭本番の夜には、まつり会場をねぶた内部よりのLEDランプで鮮やかに光って練り進む「大型ねぶた」本当に見事だった。「曳き手」と呼ばれる20数人の方がこのねぶた台車（山車）を動かすのである。

後日、このねぶた台車運行に関して「曳き手」に対し暴力事件があったと知った・・・残念である。

ねぶた祭会場近くの「ホテル青森」で早めの夕食を摂った。ホテルの大宴会場、多くの旅行会社ツアーの方が食事をしていました。豪華な「青森ねぶた祭特製弁当」とビュッフェ・スタイルで美味しい夕食であった。

♥ 感動！ ねぶた祭開始・・・

19：00 ねぶたラッセランドを先頭のねぶたが出陣し・・・私達の有料観覧席前に到着したのが40分後の19:40であった。最初の登場はオープンカーに乗ったミスねぶたのお嬢さん方であった。

♥ 1番目 ミスねぶた 19:40



三人のミスねぶたのお嬢さん、沿道のお客さんに手を振っていました！ ねぶた祭会場コース、ゆっくりと長時間、ねぶたパレードを先導、お疲れ様です。

♥ 2 番目 : 藤木製作所による出世大太鼓



凄く大きな太鼓であった、初めて眼にした。太鼓の周りには笛を吹いている方がたくさん、お子さんも・・・。迫力のある大音量である、祭気分が盛り上がり最高潮となった。

♥ 3 番目 : 太鼓の後には多勢のハネトが独特の衣装(正装)で行進していた



♥ 4 番目 : 先導者からのスピーカーから、「ラッセラー！ラッセラー！」の掛け声が発せられると・・・



行進中の多くのハネトが・・・ぴょんぴょんと飛び跳ね大乱舞！・・・あたり一帯がすさまじいほどの熱気と興奮の渦に包まれたのである。

【ねぶた祭のハネトとは】

ねぶたの周りで鈴の音を鳴らしながら「ラッセラー！ラッセラー！」の掛け声で跳ねている踊り子・踊り手の事である。

参加するのは自由であるが、ハネトの正装で参加するというルールがある。ハネトは漢字で書くと『跳人』で、読んで字のごとく、跳ねる人である。青森ねぶた祭の踊り手として、山車、囃子と共に練り歩きお祭りを盛り上げている。踊りは、片足で2回ずつ順番にピョンピョン跳ねます。ケンケンパの『パ』がない状態・・・。(ネット検索より)

♥ 5 番目 : ハネトの集団の後に「太鼓主流」と呼ばれるお囃子が続く。



一定のリズムでたくさんの太鼓が叩かれる、その後ろに笛と鉦(かね)が奏でられて行進する！その後ろに♥1番出陣「大型ねぶた」が続くのである。

2023年は23台の大型ねぶたが制作されたが、ねぶた祭を楽しんだ8月4日(金)は**19台のねぶた**が出陣した。2023年「ねぶた大賞」を受賞した大型ねぶたはこの日運行していなく直に見る事が出来なく残念であった。

2023年「ねぶた大賞」牛頭天王(ござてんのう) 制作者 竹浪 比呂央



(参考: ネット記事より抜粋)

本日(2023/08/04)出陣した19台の大型ねぶた・・・

- ・題名
- ・制作団体
- ・制作者
- ・概観写真を記録として残す事にする。

大型ねぶたは前後左右どこから見ても素晴らしい造りである。写真はたくさん撮ったが、紙面の都合上、主に正面像の大型ねぶたの概観写真を出陣順に紹介する。

♡ 1 番出陣

題名：綱館 (つなやかた)

団体名：ヤマト運輸ねぶた実行委員会

制作者：北村 隆



♡ 4 番出陣

題名：田村鷹大嶽丸を討つ

団体名：消防第二分団ねぶた会・アサヒビール

制作者：内山 龍星



♡ 2 番出陣

題名：天狗と牛若丸

団体名：青森市PTA連合会

制作者：内山 龍星



♡ 5 番出陣

題名：日出処の天使 (ひいづるところのてんし)

団体名：日本通運ねぶた実行委員会

制作者：林 広海



♡ 3 番出陣

題名：北の耀星「毘沙門天」

団体名：サンロード青森

制作者：吉町 勇樹



♡ 6 番出陣・・・知事賞

題名：強弓 島の為朝

団体名：JR ねぶた実行プロジェクト

制作者：竹浪 比呂央



♡ 7番出陣

題名：東北の雄 阿弭流為と鬼剣舞

団体名：東北電力ねぶた愛好会

制作者：立田 龍宝



各団体の行進先頭に PR を兼ねてと思われる小さなねぶたが行進していた。先導ねぶたという。祭りの雰囲気を盛り上げる役割があるとの事である



各団体により「太鼓主流」の太鼓の構成が異なっていた。大人から子供まで叩くリズムは同じであったが・・・



7番出陣 東北の雄 阿弭流為と鬼剣舞

行進中、ねぶた台車が回転、また、上下に傾く、等・・・ねぶたの概観を全ての方向から見せてくれているのである。「曳き手」の皆さんに感謝です。

♡ 8番出陣

題名：桃太郎

団体名：に組・日本風力開発グループ

制作者：北村 隆



♡ 9番出陣 優秀制作者賞

題名：大日大聖不動明王

団体名：プロクレアねぶた実行プロジェクト

制作者：野村 昴史



♡ 10番出陣

題名：三国志 誓

団体名：青森自衛隊ねぶた協賛会

制作者：有賀 義弘



多くの自衛隊の皆さんが東北四大夏祭りに積極的に参加している事を知った。今日の明るい時間（16：45頃）に「ねぶたラッセランド」で見学したこのねぶた「三国志 誓」と比較してみると、やはり夜の方が迫力あると感じた。

♥ 11番出陣

題名：鎮西八郎為朝
 団体名：青森山田学園
 制作者：塚本 利佳



♥ 12番出陣

題名：～主従の絆～ 牛若丸と弁慶
 団体名：青森市役所ねぶた実行委員会
 制作者：福士 裕朗



背面も素晴らしい

♥ 13番出陣

題名：一寸法師
 団体名：私たちのねぶた自主制作実行委員会
 制作者：私たち一同



♥ 14番出陣

題名：釈迦降誕
 団体名：NTTグループねぶた
 制作者：北村 春一



♥ 15番出陣 **観光コンベンション協会会長賞**

題名：新田義貞伝説 龍神へ太刀を捧ぐ・・・
 団体名：日立連合ねぶた委員会
 制作者：北村 蓮明





新田義貞伝説 龍神へ太刀を捧ぐ・・・
背面も素晴らしい

♥ 16番出陣

題名：孔雀明王と役小角
団体名：パナソニックねぶた会
制作者：北村 蓮明



背面も素晴らしい

★ねぶたができるまでの行程 (ネット検索より)

- ①下絵 ②骨組み ③魂入れ ④電気 ⑤紙貼り
 - ⑥書割り ⑦ろう付け ⑧色付け ⑨台上げ ⑩装飾
- 10段階の行程で作成、大きさ9m×7m×5m
明かり、発電機、LED約1,600個使用とのこと

♥ 17番出陣 商工会議所会頭賞

題名：火雷天神 菅原道真
団体名：青森県板金工業組合
制作者：北村 春一



♥ 18番出陣

題名：土蜘蛛 (つちぐも)
団体名：あおもり市民ねぶた実行委員会
制作者：北村 麻子



制作者の北村麻子 (41歳)さんは、ねぶた師史上初の女性ねぶた師である。昨年「市長賞受賞」、父親はねぶた師の名人であるとの事である。背面も素晴らしい。



♥ 19番出陣・本日最後のねぶた出陣

題名：国性爺合戦 和藤内・甘輝の復興

団体名：公益社団法人青森青年会議所

制作者：立田 龍宝



♥ 最後尾のねぶたが通り過ぎて行った・・・

時刻は 21:00 である。

21:20 集合しバスに乗車する。

明日見学予定の「秋田竿灯まつり」開催地秋田県に向かって出発する。

宿泊ホテルの湯瀬温泉に到着したのは 24:00 を少し過ぎていた。

本日バス走行（盛岡ー青森ー秋田）300km・・・。

夜食（簡単な弁当）が用意されていた。

自販機で缶ビールを買い、疲れを癒す。

家内は部屋で、私は温泉大浴場に入り汗を流す。

明日はホテルゆっくりの 10:30 出発予定である。

秋田竿灯まつり楽しみである

♥ 東北四大夏祭りの旅（2日目）

秋田竿灯まつり 2023年8月5日（土）

♥ 秋田湯瀬温泉

四季彩り湯瀬ホテルは山間（やまあい）に囲まれた閑静なグレードの高い温泉ホテルであった。



昨日青森の「ねぶた祭」終了後、高速道路を走り到着したのが 24:00 を少し過ぎていたが・・・

ホテル従業員3名が暖かく迎えてくれた。

翌朝、溪流のせせらぎを聞きながら露天風呂に浸かり、美味しい朝食をいただき、自然の景観を楽しみ部屋で寛いだ。

ホテル出発はゆっくりの 10:45 であった。

湯瀬温泉（鹿角市）、玉川ダム、田沢湖、角館（武家屋敷）を経て秋田市に向かう

♥ 玉川ダム（宝仙湖）



ダムによって出来た人造湖は「宝仙湖」と名付けられ、近くにキャンプ場もあり、自然の美しさを楽しませてくれるピクニックとしての場としても人気が高い場所である。

近くに、世界でも珍しい塩酸が主成分の日本一酸性度の高い強酸性の泉質、ラジウム含有の低放射線ホルミシス効果がある新玉川温泉がある。

（ガイドさんの説明）

個人的には怖くて行きたくない温泉かも・・・。

♡ 宝仙湖の展望台にあるカリヨンの塔（幸せの鐘）



とても重かったが思い切り紐を引いた！
大きな鐘の音がしばらく鳴り響いた・・・👍👍👍

♡ 角館（武家屋敷）

13:00 昼食会場

角館百穂苑（美術館レストランとして有名）



(ネット検索画像)



赤い御前での昼食・・・美味しかった。

昼食後、角館歴史村武家屋敷を観光をする予定である。



秋田角館には観光で何度か来ているが、この広大な駐車場は初めて眼にした。



武家屋敷「青柳家」を見学した。3000坪、大人¥500



15:00 駐車場には更にバスの台数が増えていた。

秋田竿燈まつりの会場（秋田市）に向けて出発する

♥ 秋田キャッスルホテルにて早めの夕食・・・
17:30



竿燈まつり会場近くのホテルで・・・早めの夕食・・・を摂った。
この食事会場にも竿燈まつり見学ツアーの多くの団体が利用
されていた。空腹感は余り無かったが、すべて食した(笑)

♥ 秋田竿燈まつり 2023

竿燈まつりとは・・・

竿燈全体を稲穂に、連なる提灯を米俵に見立て、演技として、手の平・額・腰・肩などにのせ、豊作を祈る・・・
国重要無形民俗文化財にも指定されているまつりである。



実は、約2週間前、7月中旬、秋田地方に災害が・・・
大雨被害、約3万世帯で浸水推定 国道沿いで土砂崩れも



2023年7月中旬、秋田市は記録的大雨で広い範囲が浸水した。JR秋田駅の近くにある榎山地区では、8月3日に始まる「竿燈まつり」の道具を保管している倉庫も床上まで水につかる被害を受けた。

350個の提灯がダメに太鼓も使用不能に・・・

町内会の方は意地でも竿燈まつりに参加したい・・・

その強い思いで修復につとめた。太鼓は近隣地区より借用し、何とか8月3日から開催のまつりに間に合わせる事ができた。(角館から秋田市に向かうバス車中にて、ガイドさんより強く熱い想いでの説明があった)

♥ 観覧席(有料)に向かう

18:20



出番を待つ参加団体のメンバーさん、女性の方もいますね・・・会場近辺の町内会、学校、職場等、約67団体が参加するとの説明があった。

♥ 観覧席へ移動



青森ねぶた祭、秋田竿燈まつり、この二つは観覧席からの見学がツアーに含まれていた。

観覧席はツアー仲間公正を期して事前に添乗員さんが用意したくじ引きにより決めていた。私の席は一番上段の右端、家内の席は一段下の前席に、座席指定席券 ¥4,000・・・写真撮影には最高の席（他の方に迷惑をかけない）（反対側道路の竿燈演技見る事ができる）

♥ 竿燈まつり開始

18:52 竿燈入場



まつり衣装の子ども達が先頭で入場

沿道、観覧席の人たちに手を振って歩く、私達も手を振って応えた。川口境竿燈会と自動車に表示が、近辺の町内会の様です。竿燈入場は 18:50 その前に、所在は不明ですが秋田市長の挨拶が会場内に大音量で流れていた。

19:00



続々と竿燈が入場して来ます。竿燈メンバーと観客が一体感となり、手を振って応援していた。

♥ 観覧席と竿燈まつり会場

竿燈大小あわせて 280 本、提灯総数約 10,000 個との事・・・（宣伝パンフレットより）、壮観です。観覧席を挟んで両側約 850m の直線道路が竿燈まつり会場となる。

19:10 会場全体も徐々に暗くなり、竿燈の提灯の明かりも明るく輝き、太鼓、笛、鉦の音が会場全体に鳴り響き、祭り気分最高に盛り上がってきた。



♥ ノースアジア大学（団体）の学生さん



手を振っている男性の学生さんが「差し手」と呼ばれる竿燈を操る演技者と思われた。



大太鼓を叩く女性・・・力強く、リズム良く、息を合わせて竿燈を操る演技の竿燈の重さは非常に重く、女性には無理、参加している女性は、太鼓を叩く、笛を吹く、鉦をならす等で祭りを盛り上げる役割で参加していると思われた。



竿燈入場から 20 分、まだ、続々と竿燈は入場している。
 竿燈演技の予定時間は 19:15~20:35 の予定、もうすぐ演
 技開始と思われる。

♥ 竿燈演技開始

19:15



笛による合図、一斉に、竿燈を立て演技の始まりとなった。
 手前が小若、他の二つが大若または中若の様である。
 演技によって竹竿が継ぎ足されると思われた。
 それにしても 12m の竹竿は凄い！

竿燈の大きさは提灯の数、竹の長さにより 4 種類ある。

	大若	中若	小若	幼若
重さ	50kg	30kg	15kg	5kg
長さ	12m	9m	7m	5m
提灯の数	46個	46個	24個	24個

(ネット検索より)

♥ 竿燈まつり会場

19:20



竿燈まつり主会場 (竿燈大通り)

観覧席を挟んだ両側道路 (850m) 竿燈で埋め尽くされた。

「ドッコイショー、ドッコイショー」

掛け声やおはやしの笛の音が会場内に鳴り響いている。

大きな竿燈を自在に操る「差し手」の演技が開始された。

♥ 竿燈の演技



提灯 24 個、15kg、小若、手のひら (平手) に乗せてバラン
 スをとっている。日頃より練習していると思われるが、重
 いと思われる、素晴らしい (拍手)

♥ 「差し手」による竿燈の演技は 5 種類ある

(ネット検索より)

①流し: 「流し」は、竹を継ぎやすいように支える技です。
 利き手で竿燈を支え、一旦手のひらで静止。その後、指の
 間から 15cm から 20cm ずらして持ちこたえます。

②平手: 竿燈を高々とかざし上げる「平手」。
 竿燈の基本技でもあります。
 片手で竿燈をかざし、もう片方の腕を広げることでバラン
 スをとります。

③額: 竿燈を額で支える「額」では、利き腕の手のひら
 で竿燈を受け、指の間から少しずつずらしながら、額に乗
 せます。両腕を大きく広げることでバランスをとります。

④肩: 竿燈を肩で支える技の「肩」。
 5 種類の技の中では最も覚えやすい技とされています。
 利き腕を曲げないでゆっくりと肩に降ろし、首の付け根あ
 たりで止めます。この時、軸足と肩を一直線にするのがポ
 イントだそうです。

⑤腰：5種類の技の中で最も難易度が高いとされる「腰」。利き腕の手のひらに竿燈を受け、指の間からずらして腰に乗せます。上体を横に傾け、両足を開いてバランスをとります。



この演技は、平手、提灯46個、中若（長さ9m）

約20分間、何人かの「差し手」が交代を繰り返し様々な演技を繰り広げてくれた。

「差し手」の技が成功する度に観客と仲間から大きな拍手と歓声があがった。



次の演技する場所まですべての竿燈（団体）が進む。

演技時間（19:15～20:35）の間に、3ステージの演技を見る事が出来たのではと記憶している。



この演技は、肩、提灯46個、大若（長さ12m）
すごい技です！（拍手）

この竿燈50kgの重さ、竹竿とのバランスで重量が軽減するのか・・・50kgの重さ、肩で支える事かなり難しい・・・竿燈会メンバーの方日頃よりの訓練の賜物か・・・。

演技中の時間、会場には、お囃子、太鼓、鉦の音の他に、2人の大人の方の声で、「ドッコイショー、ドッコイショー」、「ドッコイショー、ドッコイショー」それぞれちがった独特な掛け声がボリューム最大で流れていた。

♥ 竿燈が倒れ観客席へ



この写真は、反対側の竿燈演技をスマホで動画撮影中に、バランスを崩し竿燈が観客席に倒れた時の画像である。竿燈が倒れる場合があるので注意してください・・・と、事前に場内アナウンスはありましたが・・・。

けが人は無しであった、良かった。

♥ 竿燈の演技終了時間が近づいてきた

20 : 30



演技は終了、竿燈は立てたまま・・・
これから、竿燈メンバーと観客のふれあい時間となる。

♥ ふれあい竿燈 (20 : 35~30 分間)



20 : 50

ふれあい竿燈は太鼓を叩いたり竿燈を持ったり、竿燈メンバーと一緒に写真を撮ったり出来る楽しい時間である。
演技が終わる 20:35 から約 30 分程度と短い時間であったが貴重な体験であった。

秋田竿燈まつり・・・とても素晴らしかった！

♥ 秋田竿燈まつり 見学終了

21 : 00 ツアー参加者集合し、バス停車場へ移動する。
明日見学予定の「花笠まつり」開催地の山形県に向かって出発する。
宿泊予定の山形県由良温泉「ホテル 八乙女」に到着したのは 23 : 00 過ぎであった。

本日バス走行 (秋田湯瀬温泉一角館一秋田市一山形県鶴岡市) 350km でした。

夜食 (おにぎり 3 個) が用意されていた。
自販機で缶ビールを買い、疲れを癒す。
家内は部屋で、私は温泉大浴場に入り汗を流す。
昨年と同じ・・・疲れも有り、時間も時間、納得である。

明日はホテルゆっくりの 10 : 00 頃出発の予定である。
山形県鶴岡には、約 10 年前の旧正月に黒川地区春日神社にて開催の黒川能 (王祇祭) 鑑賞で 2 回程訪れている。

山形 花笠まつり 楽しみである

♥ 東北四大夏祭りの旅 (3日目)

山形花笠まつり 2023年8月6日 (日)

♥ 山形由良温泉、ホテル八乙女からの景色

6 : 30



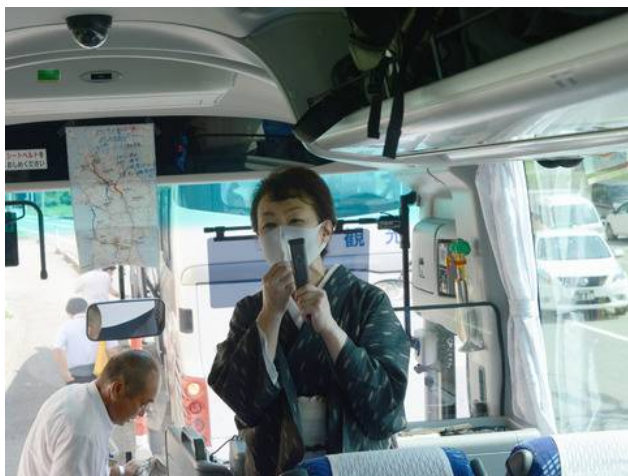
昨日、「秋田竿燈まつり」を見学し、終了後 21 : 00 集合、バスに乗り、秋田市「竿燈まつり会場」を後にし、途中トイレ休憩をはさみ山形県鶴岡の由良温泉に 23 : 00 過ぎ『暗闇くらやみ』に到着した。自販機で缶ビール、温泉大浴場に浸かり休んだのであるが・・・。
朝起きて、外を見ると、青々した大海原が広がる雄大な景色の日本海と岩山の海岸が見えた。
鶴岡市の湯野浜温泉には宿泊した事があったが、由良温泉は初めてであった。山形鶴岡市は、友人の奥様の故郷であり、500 年伝承の「黒川能」の地であり、約 10 年前に王祇祭の黒川能を観る機会があり訪れた地でもあった。

♥ ホテル八乙女

10:00 出発する



ホテル八乙女の女将は美人で有名（ガイドさんより）



美人女将 お礼のあいさつ・確かに美しい方ですね
館内の廊下には芸能人とのツーショット写真がたくさん・・・
藤あや子、五代夏子、天童よしみ、小林幸子、香西かおり・・・
男性歌手では杉良太郎他・・・何名かいたが忘れた。

♥ 荘内観光物産館

10:20



山形県自慢の特産品がいっぱい！
山形道・鶴岡 IC のすぐ近くにある、火の見櫓が懐かしい。
物産館の目印です。山形・庄内のお土産がいっぱい。
だだちゃ豆、岩ガキ、さくらんぼ、ラ・フランス、お酒、
漬け物、和洋菓子・・・
約10年前に訪れた事を思い出した。

♥ 羽黒山参拝とご祈祷

羽黒山は山形のパワースポットとして有名である。
出羽三山（羽黒山、月山、湯殿山）の三神を祀った大社殿
（三神合祭殿）がある。



羽黒山の山伏が我々を案内、時々、法螺貝吹いてくれた。
羽黒山の特徴は正門から山頂までの参道に2446段の石段があること、歩くと1時間を要する。
我々は山頂の社殿までバスで行った（有料道路使用）。



松尾芭蕉の銅像があった。





羽黒山三神合祭殿参拝とご祈祷がツアーに含まれていた

本殿でご祈祷の最中に、突然雷が、そして土砂降りの雨が降ったのである。30分程でやみ、羽黒山を降り鶴岡の市内に戻ったが雨が降った跡が全くなかった。お札を頂いた。

♥ 鶴岡市内の鶴岡料理のお店で昼食

12:00 「すず音」



今回のツアーの昼食では最高の美味しい懐石料理を頂いた。

以前、鶴岡市黒川の地で旧正月を祝って凍み豆腐（しみどうふ）と山椒の香りただよう秘伝のタレで山菜の精進料理を食した記憶がよみがえった。杉木のたる酒美味しかった・・・。

お酒は我慢した。

♥ 山形市花笠まつり会場へ



鶴岡市から山形自動車道を走り、途中トイレ休憩、天童市へ、天童市は将棋の駒で有名、将棋の駒を売っているお店に立ち寄る。

天童温泉の近くのレストランで・・・早めの夕食・・・空腹感はなかったが・・・

14組28名、3部屋に別れて食事、これまで昼食・夕食時はアルコール禁で我慢していたが・・・

私たちのルーム全員（4組夫婦8名）生ビール中ジョッキで乾杯！ 会話が盛り上がったのである。

天童市から花笠まつり会場（山形市）まで距離は短い・・・。

◎花笠まつりの見学は「自由見学 約120分」

◎最終集合時間と集合場所を確認し解散、自由見学へ

◎17:30 解散、集合 20:30

（道路が混まないうちに3日目の宿に・・・）

♥ 山形花笠まつり開始・・・4年ぶり開催

17:55



花笠まつり「ミス花笠」4名のお嬢さん・・・何故か子供たちも乗車し手を振っていた

・・・

<スケジュール>

◎18:00 実行委員会挨拶

◎18:10 パレードの開始

- ・山形市中心地約1.2kmの直線コース
- ・道路の両脇で鑑賞（無料）
- ・約160以上の団体、総勢約10,000人の踊り手が参加
- ・花笠音頭、ヤッショー・マカショ！の囃子言葉
- ・鮮やかな紅花をあしらった「花笠」を掛け声とともに回しながら踊りを披露してくれる

◎21:00頃 パレード終了

・・・

山形花笠まつりでは有料観覧席はなく、パレードは沿道より自由に見学する。

17:50、バスガイドさんの案内で花笠まつり終了後の集合場所へ案内され、集合時間確認後、自由解散となった。集合場所は、花笠まつりのスタート地点近くであった。パレード会場近くの道路には見物の方で溢れていた。

♡ パレード開始

18:00



この時間、道路両脇、見物客でイッパイ！

良い観覧ポイントを求め、スタート地点から中間地点まで多くの見物客をかき分けながら探した。行進中の踊り子さん、望遠で撮影しながら・・・何しろ凄い人出であった。何とか2列目で立って見学できる場所が確保できた。



♡ 花笠踊りが始まった



山形花笠まつりの踊りの起源は五穀豊穡を願う田植え踊りであったとされる。傘にあしらった赤は、昔から山形の民に親しみのあった紅花（べにばな）を模したとされている。現在のパレードを行う形になったのは昭和40年ごろで「山形花笠まつり」まだ歴史の浅いお祭りの様です。



太鼓の音とヤッショー・マカショ！の囃子言葉が響き渡る



そろった踊り、見事です（拍手）



若い方が多いですね、おばちゃんも頑張っています。



可愛い、綺麗、色っばい、いろいろな衣装での花笠音頭の踊り・・・本当にすばらしい！



多くの学生さん（小・中・高・大学生）が参加していた



花笠がぼけているのは、花笠を回しているから・・・



ちっちゃな子供たちお母さんと一緒に踊っています。



高校生（学生）と思われる参加団体が多いです



学校行事（体育祭等）の一つになっているのかも・・・



ヤッショー・マカシヨ！ 元気がいいです



花笠音頭の起源は大正中期に尾花沢で土木作業時の調子あわせに歌われた土突き歌が起源といわれており、昭和初期にこれが民謡化され「花笠音頭」となった。（ネット記事）

「はーあ やっしょおまかしよ
シャンシャンシャン それ！」



ダイナミックな横転を見せてくれた若者たち（拍手）

♥ 花笠まつり ゲスト（I）



ちっちゃなお子さん、頑張って踊っています（可愛い）



渡辺えりさん

渡辺えりさんは山形生まれだそうです。
女優、タレント、作家としてマルチに活躍している。
車の上で、花笠音頭の花を一生懸命に回していました。

♥ 陸上自衛隊第20普通科連隊



青森ねぶた祭、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり・・・
すべてのお祭りに自衛隊の皆さんが参加し協力していた

♥ 花笠まつり カメラ写真撮影について

衣装の襟には「第60回南校南物語」と書いてある。
南高校の生徒さんでしょうね。



★ストロボ撮影：AUTO (f4.5、1/60sec、ISO800)

動きの瞬間を撮影できるが、踊っている動きの雰囲気はやや無くなる。

実は 17:00 を過ぎると、かなり暗くなり、街灯や提灯の明かりだけでの撮影は難しくなる。

絞りをやや開き (f6~f8)、ISO 感度を 4000 程度にあげても、シャッタースピードは 1/8~1/10 低速となる。
結果 ぼけるのである。

★絞り優先モードでの撮影

絞りを設定すると、シャッタースピード、ISO 感度は自動的に決まる



★絞り優先モード 撮影条件 f10、1/8 秒、ISO4000
花笠を回している雰囲気少し表現できているかも。
撮影目的に応じて、夜間の撮影、これからも勉強したい。

♡ 花笠まつり ゲスト (II)



テツ and トモ さん

♡ 花笠まつり終了

19:30



私たちの鑑賞ポイント前を最後の団体が踊りながら通り過ぎて行った。

多くの団体の花笠まつりの踊りを撮影した。

この日だけで 160 枚撮影、動画も、時々、パソコン画面で楽しみたい。

♡ 集合場所に向かう

私たちのバスは、待機可能道路の一番先頭に停車していた。ツアー仲間も全員 10 分前に集合していた。出発予定時間より早めに山形花笠まつり会場を後にしたのである。

3 日目の宿は、仙台市の奥座敷「秋保温泉あきうおんせん」のホテル・今年 6 月に岩沼屋からリニューアルオープンした「TAOYA 秋保」である。予定の 22:00 よりかなり早く到着した。本日のバス走行距離は 300km でした。

♡ TAOYA 秋保 のサービス

ロビーラウンジにて 23:00 まで・・・

アルコール類 (ビール、お酒、ウイスキー等)、飲料水類 (お

茶、コーヒ等)、カレーうどん等が無料で飲み放題、食べ放題であった。

温泉で汗を流し、親しくなったご夫婦と 4 人で、遅くまでお酒を頂きながら歓談した。

明日のホテル出発は 10:00 予定である。

4 日目、仙台の七夕まつり見学、楽しみである

♡ 東北四大夏祭りの旅 (4 日目) 仙台七夕まつり 2023 年 8 月 7 日 (月)

♡ 秋保温泉・TAOYA 秋保



♡ 3 日目の宿は、奥州三名湯の一つで「仙台の奥座敷」と呼ばれる秋保温泉・大江戸物語のグループのオールインクルシープ温泉リゾートホテル『TAOYA 秋保』であった。

(オールインクルシープとは宿泊代金にアルコール・ビール等のドリンク、食事等がすべて含まれているプラン)

昨晩は、そのサービスでワイン・ビール・ウイスキー等をたくさん頂いたのである・・・

♡ 今回のツアーには嬉しいサービスが付いていた。

宅配サービスである。それも夫婦で 2 個・・・

朝、ホテルフロントで宅配伝票と、スーツケース用カバー、段ボール箱を頂き、最終日の旅に必要な無い物をすべて宅配で送る事にし、荷物の整理を済ませたのである。

ダンボール箱には、お土産、衣類、充電器類、その他を箱いっぱいになるまで詰めた。明日の午後には届くとのこと。旅行前、その様なサービスがある事知らず、仙台七夕まつり、仙台駅の貸しロッカーが使用出来ない場合、スーツケース等引きずりの見学を覚悟していたのである。

手荷物なし、ほぼ手ぶらで「仙台七夕まつり」を楽しむ事が出来たのである

♥ 仙台七夕まつり・仙台観光（#1）

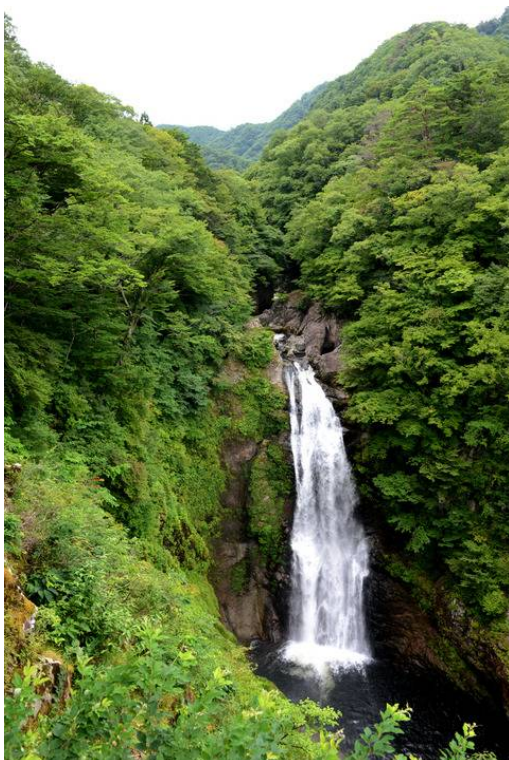


10:45 秋保温泉から更に山奥に入った所にあり、日本の滝百選の一つに数えられている。

♥ 秋保大滝不動尊



♥ 滝見台からの絶景！ 秋保大滝



諸説あるが「華巖の滝」「那智の滝」と並び「日本三名瀑」に数えられている（ネット検索）

♥ 仙台七夕まつり・仙台観光（#2）

仙台青葉山公園 12:00



青葉山公園入口にある宮城懸護国神社

仙台と言えば「伊達政宗公」の居城の仙台城が有名である。現在仙台城跡が公園になっている、それが青葉山公園である。竹竿による七夕まつりの飾り「吹き流し」が空を舞っていた。

♥ 昭忠碑

年代物の古い石塔の前にブロンズ製の大きな鳶（とび）が石塔の上ではなく台座に、何故・・・？

石塔の正面左側に掲示板がある、その説明では・・・



この石塔は明治 35 年に日清戦争の戦没者を慰霊するため建立された。2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分に発生した東日本大震災で崩れ 2015 年に修復、安全性を考量し石塔前に設置されたと記してあった。

★ 震災で崩れる前の昭忠碑と鷲のブロンズ像



ガイドさんの説明では・・・

鷲のくちばしはロシアの方へ向いていた
にらみつける様に・・・
(日露戦争・・・)

♡ 仙台城本丸大広間跡 遺構表示



♡ 仙台七夕まつり 見学はじまる

13:15 仙台駅前観光バス乗降場



4日間お世話になった、バスガイドさん、運転手さんとお別れです。盛岡～青森～秋田～山形～仙台・・・
約900kmのバス旅、お世話になりました。ありがとう！

♡ 仙台駅より七夕まつり自由見学



13:30
仙台駅構内各所に七夕飾りが飾られていた。



添乗員さんより、この新幹線乗り場フロア、この場所に17:10集合して下さい・・・
その後、自由解散、各自で仙台七夕まつり見学となった。

♡ 伊達政宗公騎馬像

仙台のシンボルといえば伊達政宗の騎馬像である。



ガイドさんの説明によると、戦時中1944年金属提出対象（武器製造）で姿を消した。

残された石膏原型を使い、1964年に完成したのが現在の像で2代目の像とのこと。
初めて知った。

♡ 青葉山公園からの仙台の街



青葉山公園は高台にあり、広々とした展望広場からは仙台市の街並みが一望できる。以前は太平洋の海が望めた様であるが、今は高層ビル群が立ちはだかつて、その景観は無理の様である・・・



仙台駅高架型歩道から見た駅前街並み・・・都会ですね
左側に見えるアーケード街が七夕まつりのメイン会場

♥ ハピナ名掛丁（はびななかけちょう）とクリスロード商店街の七夕飾りを見学した



たくさんの七夕飾りが飾られており、見学に訪れている
たくさんの方々にも圧倒された。



七夕の七と夕は何を意味している？

七夕の7月7日は、織姫と彦星が天の川を渡って、一年に一度だけ出会える日、そして、短冊に願い事を書いて笹竹に飾る日と漠然と思っていた。何故一年に一度しか会えないのか、子供の頃は思わなかった（笑）。

7月7日の夕方に織姫と彦星出会う、
それで「七夕」思っていた。



「七つ飾り」の七もありか・・・

七夕まつりの飾りにはいくつかの種類があり「七つ飾り」と呼ばれている。



- ①短冊 ②巾着 ③くずかご ④折り鶴 ⑤網飾り
⑥紙衣 ⑦吹き流し

仙台の七夕まつりの飾りはほとんど「吹き流し」である。あらためて、写真を見て見ると吹き流しの他、紙衣、短冊等が飾ってあった。



仙台の七夕まつりは8/6月～8/8火に開催であるが、以前は旧暦の7月7日に行われていた様である。新暦と旧暦の間の中歴を用いることで、現在の開催期間となっているとの事である。東北の夏祭り、ねぶた祭、竿燈まつり、花笠まつり等の開催時期と合わせたのかも・・・。



小さいお子さんが本物のお馬さんに乗れる体験ができるイベントもあった。



クリスロード商店街の七夕飾り・・・豪華賞
たくさんの七夕飾りに対し審査が行われていた様である。

ハピナ名掛丁商店街とクリスロード商店街アーケードの七夕飾りを見学した。
片道約500mに飾られた多くの七夕飾りを楽しんだ。
折り返して仙台駅に向かう。



14:15

ハピナ名掛丁商店街アーケード入口が見えます(クリスロード側から撮影) 往路・復路ともにたくさんの人です。



ハピナ名掛丁商店街アーケードの七夕飾り

仙台駅前会場の他、仙台市の多くの会場で七夕まつりが楽しまれている。今回は参加出来なかったが、七夕まつりに合わせた花火大会も実施された様である。

♡ 仙台駅

14:30



とてもきれいな駅でした。
高架型歩道橋は大変便利だと思った。

♥ 仙台駅で昼食を・・・

集合時間までたっぷり時間があつた。
駅構内の「牛タン通り」で仙台名物の牛タンで昼食をとる
事にした。



牛タン通りには仙台名物牛たん専門店が6店舗あつた。
この時間、どこのお店も順番待ちの列が出来ていた。

30分以上待つ「味の牛たん喜助」というお店に入る事が
できた。



私はスペシャル厚焼きセット（しお）を注文した。
家内はスペシャルセット（たれ）・・・。



生ビール（中）と麦飯に合うとろろを追加注文した。
時間をかけて仙台名物、牛たん焼きを味わった・・・。

美味しかった！

集合時間まで、お土産売り場で仙台名物のお菓子ずんだ餅
等の買い物をした。

17:00 集合場所へ

ほとんどのツアー参加者が集合していた。

17:43 やまびこ 154 新幹線（グリーン車）で東京へ
東京駅でツアー解散した。

東北四大夏祭りの旅・・・最高に楽しかった

♥ 旅を終えて

新型コロナ感染力の影響を受け、日本各地のお祭り、イベ
ント開催が中止されていた。感染力の弱いオミクロン株、
また感染分類が2類から5類に変わり、コロナ感染終息の雰
囲気となってきた。今回の東北四大夏祭りの開催も3年ぶ
り、4年ぶりの開催であった。その分地元の方々の思いれ
も強く、祭りを楽しむ様子が強く伝わってきた。
お祭り見学に参加した我々も大いに楽しみ、その雰囲気
を楽しんだのである。

趣味のカメラ撮影でたくさんの写真を撮った。ボケ防止で9
年前から始めたブログであるが、これまでに無い程多くの
写真と旅の思い出を記した文章で投稿した。
ブログはネット上の記録媒体、運営会社の都合で停止にな
る事もある（投稿したブログすべてが削除という事に）。
今回の旅の思い出は記録として残したい、ぼけ防止の意味
も兼ねて、あらためて、ブログ記載の写真と文章をコピー・
ペーストし、一部文章追加し、Word 文章に編集し、まとめ
て見たのである。プライベートな旅の記録であるが、何か
の参考になれば幸いである。